

## 観光学部学位授与方針

### 学修成果

「学士（観光学）」を授与される学生は、以下のような能力を有する。

1. 観光学全般にわたって基礎的な知識を持ち、特定の分野で論理的な分析ができる。
2. 国際交流としての観光の意義について理解し、実際に国際交流を実践できる。
3. 現実の諸問題を解決するための総合的な判断能力を持つ。
4. 現実の状況に対応して適切なリーダーシップを発揮できる。
5. 特に観光学科の卒業生は、「ビジネスとしての観光」または「地域社会における観光」の視点にもとづく専門的な知識と分析能力を持つ。
6. 特に交流文化学科の卒業生は、「文化現象としての観光」または「地域社会における観光」の視点にもとづく専門的な知識と分析能力を持つ。

さらに全学共通科目により、

7. 言語 A の学修によって、聞く・話す・読む・書くという基本的技能にもとづいて、状況に応じて適切なコミュニケーションができる。さらに、英語圏の文化のみならず、英語を通して得た国際的な知見によって、多様な文化を理解し、対応できる。また、自分の専門領域の内容を英語で学ぶ基礎が身につく。
8. 言語 B の学修によって、聞く・話す・読む・書くという基本的技能にもとづいて、日常生活における基本的なコミュニケーションができる。さらに、当該言語圏の文化のみならず、その言語を学ぶ過程で獲得した多元的な視点を通じて、多様な文化を理解し、対応できる。また、留学生については、大学での学修に必要とされる高度な日本語運用能力を養うとともに、実社会のコミュニケーションに対応できる実践的な日本語力を身につける。
9. 学びの精神では、立教大学設立理念の一端に触れ、自ら主体的に学ぶ姿勢を身につけ、大学での講義科目受講の包括的スキルを体得する。
10. 多彩な学びでは、学問的知見の多様性と豊饒性を理解し、他の諸学問の成果を交錯させることで、世界を複眼的に解読する柔軟な知性を涵養する。また、スポーツ実習では、心身の健康増進を目的とした科学的知識を理解し、スポーツの実践をとおした体力の維持・向上、運動習慣を醸成する。